

はじめに



歯と口の健康を保つことは、食べる喜びや話す楽しみなど、生涯を通じて健康で豊かな生活を送る上で、基礎的かつ重要な役割を果たしています。また、歯と口の健康は、全身の健康と関係していることが指摘されており、歯と口の健康づくりの取組みを推進することが一層求められています。

本市では、「第2次東大阪市健康増進計画 健康トライ21（第2次）」における健康分野の一つとしての取組みに加え、「東大阪市歯科口腔保健計画 歯っぴいトライ」を平成26年に策定し、歯科口腔保健の推進に取り組んでまいりました。

この度、歯っぴいトライ策定から10年が経過することから、これまでの取組みや目標の達成状況を評価し、明らかとなった課題を踏まえ、令和6年度から令和17年度までを計画期間とする「第2次東大阪市歯科口腔保健計画 歯っぴいトライ（第2次）」を策定しました。

本計画では、「市民がともに支え合い、健康で心豊かに生活できる持続可能な社会の実現～ONE TEAMで取り組む 東大阪の健康づくり～」を基本理念とし、「歯科口腔保健の推進による健康寿命の延伸・健康格差の縮小」を基本目標として、これを実現するための3つの基本方針を示しました。

乳幼児から高齢者まで、また、障害のある方や介護を必要とする方など、定期的に歯科健診や歯科医療を受けることが困難な方を含め、歯科疾患の予防や口腔機能の獲得・維持・向上を図るとともに、歯と口の健康づくりに必要な社会環境の整備を図ることで、東大阪市を構成する様々な主体が一体となって歯と口の健康づくりを推進していけるよう、取り組んでまいります。

歯科口腔保健の推進には、市民の皆様や、関係団体、関係機関等との連携・協働による取組みが重要と考えております。皆様におかれましては、これからもより一層のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました、「東大阪市健康づくり推進協議会」の委員の皆様をはじめ、これまでの計画の推進にご尽力賜りました関係団体の皆様、アンケート等にご協力いただきました市民の皆様や関係機関の皆様には、厚くお礼申し上げます。

令和6年3月

東大阪市長 野田 義和